

令和4年度地域ケア会議から見えてきた課題と提案

| 課題番号 | 課題とした年度 | 課題 | 背景・事象・会議等 | センター | 前回の現状（令和4年6月） | 現状（令和5年7月） | 提案・方針等 |
|------|---------|-------------------------------|---|-----------------|---|---|--|
| 1 | 平成29 | 高齢者が安全、快適に入浴を行える環境の整備。 | 9月13日（築地）、10月18日（新川）の地域ケア会議で「一人で入浴中に体調が急変しないか不安である。」「歩いていける距離に銭湯がない・なくなってしまった。」「学校のプールのように、営業時間外の銭湯や介護保険施設、宿泊施設を開放できないか。」「江戸バスの停留所に銭湯や敬老館を加えることはできないか。」「マイクロバスで銭湯への定期便を出すことはできないか。」「支給品を杖と滑り止めマットの選択制にできないか。」との意見が出た。（京橋） 令和2年12月14日の地域ケア会議で、社会資源の一つであった銭湯の廃業と新型コロナウイルス感染症の影響で敬老館での入浴が利用できなくなり、困ったとの声があった。銭湯の開設や他の銭湯までの定期バス開設の意見が出た。（日本橋） | 京橋 日本橋 | <ul style="list-style-type: none"> 要介護状態にある高齢者に対する、介護保険サービスの利用による安全な入浴 機能低下に応じた手すりの取り付け、段差の解消、浴槽の改善施策 入浴施設（公衆浴場8ヶ所、いきいき館3ヶ所） 65歳以上の区民が健康の維持増進や近所の方との交流の役立ててもらえるよう、1回100円で公衆浴場を利用できる敬老入浴証の交付 江戸バスルート上の入浴施設（公衆浴場2ヶ所） | <ul style="list-style-type: none"> 要介護状態にある高齢者に対する、介護保険サービスの利用による安全な入浴 機能低下に応じた手すりの取り付け、段差の解消、浴槽の改善施策 入浴施設（公衆浴場8ヶ所、いきいき館3ヶ所） 65歳以上の区民が健康の維持増進や近所の方との交流の役立ててもらえるよう、1回100円で公衆浴場を利用できる敬老入浴証の交付 江戸バスルート上の入浴施設（公衆浴場2ヶ所） | <ul style="list-style-type: none"> 元気な高齢者等と共に、住民参加による支え合いの体制づくりの推進 関係機関が連携し、高齢者が安全、快適に入浴できる施設等の情報提供の充実 |
| 2 | 平成30 | 高齢者に対し、日常生活圏内での購買活動を支える、又は補う。 | 平成30年8月8日の地域ケア会議で「買い物に行くのに毎回タクシーを利用しなければならないので、経済的な負担が大きい。」と住民から意見があった。（湊） 平成31年1月18日（新富）1月23日（築地）の地域ケア会議で「デパートはたくさんあるが身近なスーパーが少ない。高齢者用の下着等を気軽に購入できるお店がない。ホームセンターもないので日用品が簡単に手に入らない。」と介護支援専門員から意見があった。 平成31年1月23日（築地）の地域ケア会議で「閉店する昔馴染みの商店が増えており、気軽に立ち寄り、相談できる場所が減っている。支援できる家族がおらず、歩行に難がある高齢者が買い物難民になっている。」と町会長、民生委員から意見があった。 | 京橋 | <ul style="list-style-type: none"> おとしより相談センターによる販売店舗や配送会社等、社会資源の情報提供 社会福祉協議会「虹のサービス」による生活支援 民間のスーパー等が行う買い物支援サービス | <ul style="list-style-type: none"> おとしより相談センターによる販売店舗や配送会社等、社会資源の情報提供 社会福祉協議会「虹のサービス」による生活支援 民間のスーパー等が行う買い物支援サービス | <ul style="list-style-type: none"> 関係機関が連携し、買い物ができる場所や移動販売等の情報提供の充実 民間を含めた既存の生活・買い物支援サービスの利用促進 |
| 3 | 令和元 | 認知症高齢者の社会参加 | 令和元年9月18日の地域ケア会議で「認知症を発症してから外出の機会が減り、マンション内の自治会活動やイベントにも参加しなくなり、他者との交流を避けるようになった。趣味の水彩画を再開したいが仲間がいない」と住民より相談を受けた民生委員より意見が出た（月島） 令和元年12月19日の地域ケア会議にて「趣味や町会に参加しているが『様子がおかしい』と思われることがあり、居づらくなってしまったり、尊厳が傷つけられる可能性がある」と民生委員より意見がでた。（月島） 令和元年11月19日の地域ケア会議にて「病気の影響により、変わった言動等が出る」と「あまり関わりたくない」と言われ、自身の狭い思いをしている人がいる」と民生委員より意見があがった（京橋） 令和元年12月4日の地域ケア会議で「認知症の進行によりアルバイトできなくなり、介護保険の利用に至ったが、時間を持て余している。就労についての意欲は高いものの、主治医からは、就労は困難との意見がある。ボランティアなどでできればよいのだがと家族から相談があった。」と介護支援専門員より意見がでた。（日本橋） | 京橋 月島 日本橋 | <ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者グループホームでは、クリーンデーや地域の清掃活動に利用者が参加し地域住民と清掃活動を行っている。また、地域のスーパーに利用者の代表が買い物に行き、職員とともに食事を作る取り組みがなされている。 認知症カフェ運営費等補助事業の開始（令和2年4月） 認知症カフェの実施3か所（令和4年7月末現在） ご本人とご家族、支援者に聞き取りでアンケート調査（令和3年6月～9月） | <ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者グループホームでは、クリーンデーや地域の清掃活動に利用者が参加し地域住民と清掃活動を行っている。また、地域のスーパーに利用者の代表が買い物に行き、職員とともに食事を作る取り組みがなされている。 認知症カフェ運営費等補助事業の開始（令和2年4月） 認知症カフェの実施6か所（令和5年7月末現在） | <ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェ等で、当事者がスタッフとして活動できる仕組みづくり 認知症サポーターとしての活動や今後の展開を示し、養成講座の受講者を増やす。 |
| 4 | 令和4 | 地域とつながりを持たない（持てない）高齢者 | 令和3年11月5日の地域ケア会議で、民生委員より「一人暮らし調査でもみられるが、支援を必要とする独居男性の介入に困難さが生じるケースがある。」との話があがった。課題として、男性は寂しい、話し相手がない等、孤独感を訴える方がいるが、自ら支援を求めない方もいるとの意見が出た。（月島） 令和3年11月10日の普及啓発型地域ケア会議で、民生委員より「外国人や他のエリアからの転入が多い。高齢者向けのサロンを始めたが、数人の参加しかなく、本当は寂しいという高齢者にどうつながったら良いのか、どういう形でつながることができるのか模索している。」との話があった。（月島） 令和3年11月22日の地域ケア会議で、他地域から中央区に呼び寄せられ、転入したケースについて話合った。参加者より「地域には呼び寄せられた高齢者が多い。寂しい思いをしているが、声に出せない高齢者が多いのではないか」との意見が出た。（月島） 令和4年7月13日の地域懇談会で、参加者より「あえて孤独を選ぶ高齢者もいる。」「地域の情報が入らず、孤独になってしまう高層マンションの居住者も増えた。」「孤独という概念の捉え方について、当事者・地域関係者・専門職等が、今一度考えた方がいいのではないか。」という意見が出た（京橋） 令和4年9月16日の地域ケア会議で、配偶者が急死したことで孤独感に苛まれている高齢者の話し合いを行った。参加者より「大切な人を失ったことへの喪失感を解消するには時間が掛かるが、高齢者の場合、時間が掛かることで体力や筋力の低下が心配」と意見が出た（月島） | 京橋 月島 | <ul style="list-style-type: none"> 友愛電話訪問事業の活用 いきいき館（3館） 高齢者通いの場（14カ所） おとなりカフェ・ちょこっと相談会（2カ所） | <ul style="list-style-type: none"> 友愛電話訪問事業の活用 いきいき館（3館） 高齢者通いの場（18カ所） おとなりカフェ・ちょこっと相談会（2カ所） | <ul style="list-style-type: none"> 地域の生活拠点（商店・郵便局・薬局等）と連携し支援の糸口を探る。 グリーフケアの普及啓発 |